

2013

広報 みなみいず 1

1

No.511



心を一つに たすきをつなぐ

—第13回静岡県市町対抗駅伝競走大会—



新年のごあいさつ

南伊豆町長 鈴木史鶴哉

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の輝かしい新春を迎え、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

また、平素から、町政の運営につきましても、深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災は、被災地はもとより、国全体に今もなお、大きな被害と影響をもたらしています。

伊豆半島先端の本町は、大規模災害により町全体が孤立する可能性が高く、発災後数日は、国等の救援がないものと想定した対応が求められてきます。

このような中、昨年9月14日、東京都杉並区と災害時相互援助に関する協定書を締結いたしました。

昭和49年に創設された杉並区立南伊豆健康学園が昨年3月をもって閉園となりましたが、40年にも及ぶ長きにわたり交流を続け親交を深めてきた中で、自治体間の連携強化につながるこの協定は、わが町にとって誠に心強い限りであります。この協定の締結を契機として、杉並区と

の更なる交流の輪が広まり、民間レベルでの多方面な連携・交流等による経済波及効果などにも大きな期待が寄せられております。

また、町内におきましても、12月1日に、各自主防災会との間で災害時相互応援協定を締結いたしました。

この協定は、予想される東海地震および南海トラフを震源域とする巨大地震などの大規模災害の発生に備えたもので、町災害対策本部からの要請により、被害を受けていない自主防災会が、友愛的精神に基づき、被災地区への応援対策を円滑に実施することを目的としたものであります。

本年は、防災対策といたしまして、湊地区への津波避難タワーの早期完成を目指すとともに、引き続き、東日本大震災の教訓を活かして、第一に住民の皆様の生命と生活を守ることを念頭に置き、安全・安心なまちづくりに邁進する考えであります。

また、防災対策以外にも課題が山積しておりますが、町の活性化のために、経済対策や観光振興など、そして、年々増え続ける有害鳥獣被害に対しては、県・

近隣市町とも連携を図りながら、駆除・捕獲等その対策に積極的に取り組んでまいります。

特に、昨年9月24日に伊豆半島の日本ジオパークネットワークへの加盟が承認されたことから、本年も「南伊豆町ジオパークビジターセンター」を拠点として、世界ジオパーク加盟に向けて、静岡県や伊豆半島ジオパーク推進協議会等と連携を図りながら、一層その取組を進め、町の活性化につなげてまいりたいと考えております。

この他にも、町民ニーズに対応した社会資本の整備により、町内事業者の受注機会の拡大を図るとともに、利子補給制度の継続や、新商品開発、販路開拓などに取り組んでいこうとする事業者に対する支援なども、関係団体等と連携しながら検討してまいりたいと考えております。

以上、年頭に当たりまして、当面の課題、抱負の一端を申し上げますが、本年も、昨年以上に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今年巳年！～干支にちなんで～ 蛇石の伝説

この地は昔、菖蒲村^{あやめ}といったが、大蛇^{だいじゅう}の石あるにより、蛇石の地名になったという。

一説によると、この石は、松崎町に境を接する大池に続き、この上で足踏みすると池の水が波立ったという。

なお、蛇石から仰ぎ見る神社・白山大権現^{はくさんだいごんげん}は、明応四年、小田原城落城の時、(当時、小田原を支配していた)大森藤頼^{おほしんとうりょう}の子息が蛇石に逃れ建立した氏神であるという。その後、北条早雲の勢力



が次第に南伊豆に及び来るにより、大森藤頼^{おほしんとうりょう}の子息は再び逃れて岩手県の山田町に住み、蛇石姓を名乗り、今日に至っているのは縁深きことである。(文・蛇石 佐藤逸也)



第36回 全国育樹祭

11月11日、第36回全国育樹祭式典が袋井市で行われ、静岡県森づくり功労者として南伊豆町から次の方々が表彰されました。

静岡県森づくり功労者

森を活かすひと<個人>



仲尾 浩さん(下小野)

(有)愛美林の代表取締役として伊豆地域およびその周辺で素材生産を行うとともに、地域の林家および林業事業体に対する指導も積極的に行っています。

また、林業だけでなく、NP〇活動を通じて地域の各種団体とともに地域の活性化活動を実践しています。

森を育てるひと<個人>



金子 晶子さん(下賀茂)

アウトドア施設を運営しながら自然体験活動によって里山のすばらしさを伝えていきます。

また、より多くの人に森林の楽しさ、可能性を提案したいと任意団体「ワンダーフォレスト・テラの森」を立ち上げ、小学校の移動教室や中高年層向けの滞在型プログラムを行っています。

森を育てるひと<団体>



県立下田高校南伊豆分校

農業高校として、地域の特性を生かした農業教育を通し、生命を慈しむ心や豊かな人間性を育成するとともに、社会の発展や地域振興に貢献できる人材の育成を目指しています。

また、学校農業クラブでは森林・林業も含む地域の農業や環境について活発に研究しています。



12月定例町議会

平成24年南伊豆町議会12月定例会が12月5日から7日まで開催され、「南伊豆町監査委員の選任について」などが原案どおり可決されました。一般会計予算は、これまでの歳入歳出予算の総額に4,795万2千円を追加し、予算総額を43億5,847万8千円としました。

行政報告(要旨)

1 防災対策

(1) 南伊豆町・杉並区災害時相互援助に関する協定書の締結

9月14日、役場湯けむりホールにおいて、東京都杉並区と災害時相互援助に関する協定書を締結いたしました。

また、9月末に杉並区と災害時相互援助協定を締結している9市町村長が一堂に会した杉並区交流自治体スクラム会議が開催され、相互に助け合い支え合うことを宣言いたしました。



(2) 南伊豆町自主防災会災害時相互応援協定の締結

12月1日に、各自主防災会との間で災害時相互応援協定を締結いたしました。

この協定は、巨大地震などの大規模災害の発生に備え、被害を受けていない自主防災会が友愛的精神に基づき、被災地区への応援対策を円滑に実施することを目的として、応援手続、経費負担などを定めたものであります。

(3) 津波避難タワー設計事業

12月3日付けで、大規模地震対

策事業にかかる湊地区津波避難タワー建設工事設計業務委託契約を静岡コンサルタント㈱と締結し、平成25年度の早期完成を目指して津波避難タワーの設置に向けた事業を進めております。

2 経済対策等

(1) 「伊勢海老号」の運行支援

10月20日、21日の両日、観光協会が行う貸切団体列車「伊勢海老号」の運行支援を行いました。JR東日本、伊豆急行㈱、㈱南伊豆東海バスと連携し、町内のホテル・旅館に宿泊し、波勝崎苑、ジオパークビジターセンター、下賀茂熱帯植物園等へ276人もの方に訪れていただきました。

当事業の効果は、町内ホテル・旅館、観光施設、飲食店等への直接的な経済波及効果をはじめ、新聞・テレビで取り上げられたことにより、今後の誘客にも大いに効果があったものと考えております。

(2) プレミアム商品券の発行助成

商工会は、11月5日から15%の割増し付きのプレミアム商品券5,000万円分を販売し、町では商品券発行経費の一部を助成し、支援を行っております。

商品券は、年末商戦の刺激、また新年度の準備が始まる時期の消費刺激など、地域経済の浮揚につながるものと期待しております。

(3) 有害鳥獣対策

町では、猪や鹿、野生猿等による被害防止対策事業として、電気柵やワイヤーメッシュ等による有害獣等被害防止対策事業補助金や有害獣捕獲駆除に対する報償金の支給を行っております。

また、11月8日から野生猿の捕獲駆除の一層の推進を図るため、報償金を2万円から3万円に引き上げるとともに、11月19日には静岡県に対し、有害鳥獣等の対策についての要望書を提出いたしました。

今後とも、静岡県、周辺市町、地元猟友会等と連携を図りながら対策に取り組んでまいります。

3 イベントの開催状況

(1) 日本ジオパークネットワーク加盟承認

9月24日、伊豆半島の日本ジオパークネットワークへの加盟が承認されました。伊豆半島ジオパーク構想推進協議会の活動は初期の目的を達成し、世界ジオパーク加盟を目指す段階に入っております。

当町といたしましては、今後もジオパークビジターセンターを拠点として、平成27年度の世界ジオパーク加盟に向けて、静岡県や推進協議会等と連携を図りながら取組を進めてまいりたいと考えております。

(2) ウォータースイムレース実施状況

9月9日、弓ヶ浜海水浴場にお

いて、「第2回国際マスターズオープンウォータースイムレース」が開催され、国内外から181人の選手が参加しました。また、前日の8日には前夜祭「黒潮ウエルカムファンクション」を開催しました。

さらに、10月7日には「第3回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会」が開催され、日本各地から集まった186人の選手が海上1.5kmのコースを泳ぎ、海岸通りを3周する陸上4.5kmのコースを駆け抜けました。

今後とも、継続開催に向けた取組を進めてまいります。

(3) 杉並区での物産展及びキャンペーン開催

9月12日、杉並区役所内において「南伊豆町物産展」を開催し、町、観光協会、伊豆漁業協同組合による海産物の販売、伊勢海老の味噌汁サービス等を行い、大盛況のうちに終了いたしました。



また、10月13日、14日には「杉並区80周年まつり」に出展し、「伊勢海老まつり」、「みなみの桜と菜の花まつり」などのキャンペーンを実施いたしました。

さらに、杉並区交流協会から、2月23日、24日に「杉並区民号」として、当町訪問の計画もいただいております。今後とも交流の拡大に努めてまいります。

(4) フェスタ南伊豆

10月21日、青野川ふるさと公園で「第9回フェスタ南伊豆」が開催され、約4,000人の来場者で賑わいました。町内外25団体が36ブー

スを出展し、地場製品の販売や健康相談など幅広い交流が行われました。また、今年度は、秋田県男鹿市観光協会による「ナマハゲ太鼓」の披露や観光協会の貸切団体列車「伊勢海老号」による観光客のうち130人がバス4台で来場され、イベントを満喫していただきました。

(5) 首都圏への情報発信



11月8日、東京都内において、JR東日本、伊豆急行㈱、JTB等の旅行代理店、観光協会などの旅行業関係者約200人が一堂に会して開催された「JR東日本温泉いっぱい花いっぱいセミナー」に、町内ホテル・旅館の関係者とともに参加し、「みなみの桜と菜の花まつり」、「夜桜ナイトラン」、「ノルディックウォーキング」などのイベントについてPRを行ってまいりました。

(6) 南伊豆婚カツ

町では、「南伊豆婚カツ」事業を町商工会に委託して実施いたします。日程は、12月8日、9日の1泊2日で、初日は町内4飲食店でグループに分かれ対面パーティーを行い、その後は町営温泉銀の湯会館にて参加者全員でのパーティーを実施し、翌日は貸切バスで町内を観光し交流を深める計画です。未婚率の低減、少子化対策、地域の活性化につながることを期待しております。

(7) 観光客等入込み状況

4月から10月までの観光客等の入込み状況は、宿泊施設が対前年

同期比111.62%、観光施設は128.82%、銀の湯会館・みなと湯の町営温泉施設が115.79%となりました。

また、7月14日に開設したジオパークビジターセンターは、約4か月で16,013人にも上る多くの方々に来場していただきました。

4 自然エネルギー

静岡県が実施したメガソーラー建設促進のための適地情報収集の調査依頼に対し吉祥町有地を回答したところ、10数社から問い合わせがあり、現在実施の意向を有している数社の事業者計画概要等を照会しているところであります。

また、環境省が(独)産業技術総合研究所に委託し実施している「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」は、加納地区における地下深部からの熱水噴出試験が9月末日をもって終了し、本年度末に報告書として取りまとめられることとなっております。

自然エネルギーに対する町の姿勢といたしましては、町有施設への導入について研究するとともに住宅用太陽光発電システム設置補助金を活用しながら、町民の皆様への普及啓発に努めてまいります。

5 静岡州市町対抗駅伝競走大会

12月1日、第13回静岡州市町対抗駅伝競走大会が開催されました。

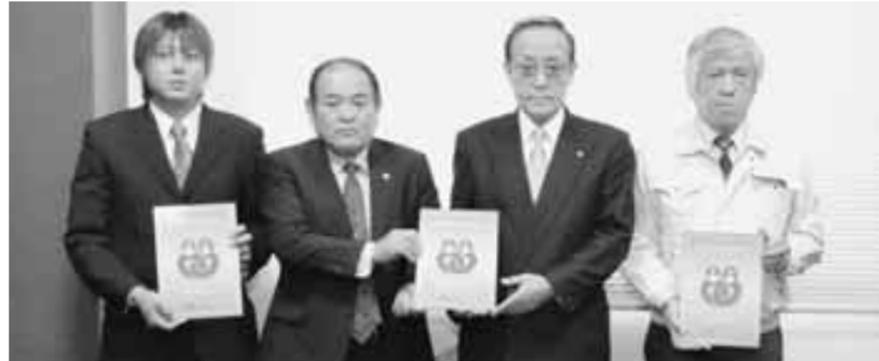
今大会には、県内の35市町から市の部27チーム、町の部12チームの計39チームが出場しました。大会結果については、2時間32分9秒で、町の部11位と全選手が健闘したところであります。

選手をはじめ、監督、指導者、ご家族・関係者、最後まで応援してくださいました町民の皆様にお礼申し上げます。

消防団協力事業所を 募集しています

南伊豆町消防団協力事業所表示制度

町では、地域の消防防災力の充実強化の一層の推進を図ることを目的として、消防団に積極的に協力している事業所等に対して表示証を交付しています。



12月18日、消防団協力事業所第1号の㈱南伊豆造園土木（写真左から2人目）と五味建設㈱（写真左）、長田建設工業㈱（写真右）に表示証の交付を行いました。

❖表示証の交付申請および推薦

協力事業所としての認定および表示証の交付、更新を受けようとする事業所等は、南伊豆町消防団協力事業所表示証交付申請書により町長に申請を行っていただくことになります。

また、消防団長等は、表示証を交付する事業所等について、南伊豆町消防団協力事業所表示証交付推薦書により町長に推薦することができます。

❖認定基準

申請または推薦があった事業所等が、消防関係法令上の違反がなく、次に掲げる基準のいずれかに適合している場合、協力事業所として認定されます。

- (1) 従業員が消防団員として1人以上入団しており、かつ、従業員の消防団活動について積極的に配慮している事業所等
- (2) 災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等
- (3) その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与しているなど、町長が特に優良と認める事業所等



南伊豆町消防団協力事業所になると、法人・個人事業税額が控除となる県税の特例があります。

*詳しくは、下記までお問い合わせください。

問合せ 総務課 防災室 ☎62-6211

走りつないだたすき

12月1日、第13回静岡県市町対抗駅伝競走大会が静岡市で開催されました。小学生から社会人までの男女11人がたすきをつなぎ、42.195kmを力走しました。

南伊豆町チームは町の部11位と健闘しました。選手、関係者の皆さま、お疲れさまでした。



防災意識の高揚を図る



消火器による消火活動を体験する区民

12月2日、町内各地区で地域防災訓練が行われました。消防団や消防署職員から指導を受けながら消火器を使った消火活動訓練などを行い、防災意識の高揚を図りました。

ヤシも冬支度



冷たい季節風からヤシを守るため、こもを巻く業者

12月5日、奥石廊崎県道沿いのココスヤシのこも掛けが行われました。冷たい季節風と塩害からヤシを守るため、毎年行われています。わらで編んだこもは3月に外されます。

寒さに負けずマラソン大会



元気よくスタートする生徒

12月6日、青野川ふるさと公園をスタート・ゴールに、南伊豆中・南伊豆東中学校合同マラソン大会が行われました。生徒たちは、保護者や先生の声援を受け元気に完走しました。

南伊豆婚カツ



下賀茂熱帯植物園で交流する参加者

12月8日、9日の一泊二日で「南伊豆婚カツ」が行われ、39人が参加しました。初日は町内飲食店でパーティーを行い、翌日は貸切バスで町内を観光するなどして楽しみ交流を深めました。

今月のおすすめ

本屋さんで待ちあわせ
三浦しをん著／大和書房
口を開けば、本と漫画の話ばかり。2012年度本屋大賞に輝く著者が本と本を愛するすべてのひとに捧げる、三浦しをんの書評とそのほか。

妻力貯金
横山光昭著／ジュリアン
夫の浪費癖が治らない。家計に関心がない。奥さんの力を駆使して夫を家計に巻き込ませ、上手にコントロールしながら貯金していく方法を紹介。

旅猫リポート
有川浩著／文芸春秋
秘密を抱いた青年と一匹の相棒は“最後の旅”にでた。一人と一匹が見る美しい景色、出会う懐かしい人々。青年と猫のロードノベル。

英国王のスピーチ
マーカ・ローグ・ビーカー・コンティック/読話
吃音に苦しむ英国王ジョージ六世を名演説家へと変えたのは、植民地出の言語療法士ライオネル・ローグだった。ローグと王との日々が甦る。

「平穏死」10の条件
長尾和宏著／ブックマン社
なぜ、病院よりも在宅の方が穏やかに死ぬのか？ 500人を在宅で看取った町医者だから言える、満足いく死の準備。忘れられない平穏死。

母性
湊かなえ著／新潮社
欲するものと欲さないもの。二種類の女性、母と娘。暗闇の中で求めていた無償の愛、温もり。私は愛能う限り、娘を大切に育ててきました。

人間の叡智
佐藤優著／文芸春秋
世界はすでに「新・帝国主義」で再編中だ！TPPでの日本の巻き返し策から、就職活動で目指すべき分野まで、役に立つ世界情勢論。

間抜けの構造
ビートたけし著／新潮社
いつもこいつも、“間”が悪い！“間”の取り方ひとつで、大きく人生は変わる。芸談から人生論まで、この世で一番大事な“間”の話。

ふくろう
梶よう子著／講談社
西丸書院番士に出世した伴鍋次郎が突然知った事実。それは、自分の本当の父親が城中で刃傷沙汰を起こし、憤死したというものだった。

— 新着図書案内 —

- | | |
|------------------|------|
| 磯野家の年金・医療・介護 | 熊井憲章 |
| エンディングノートのすすめ | 本田莊子 |
| 江戸っ子は虫歯しらず？ | 石川英輔 |
| 食で日本一の孫育て虎の巻 | 小泉武夫 |
| 証言細野豪志 | 細野豪志 |
| 具材2つで!おいしい餃子 | 重信初江 |
| 白い馬 | 東山魁夷 |
| 体が硬い人のためのストレッチ | 荒川裕志 |
| 64 | 横山秀夫 |
| 花見ぬひまの | 諸田玲子 |
| 共犯 | 深谷忠記 |
| だから図書館めぐりはやめられない | 内野安彦 |

平成24年のベストリーダーは？

平成24年、最も多くの方に読まれた本は何でしょうか？恒例の年間ベストリーダーを発表します。

★フィクション

- 1位 真夏の方程式／東野圭吾
- 2位 舟を編む／三浦しをん
- 3位 歪笑小説／東野圭吾
- 4位 刑事の子／宮部みゆき
- 5位 水の樞／道尾秀介



★ノンフィクション

- 1位 傷みにくいお弁当＆作り置きおかず／武蔵裕子
- 2位 焼きたて！おうちピザ／濱田美里
- 3位 これでおしまい我が老後／佐藤愛子
- 4位 面白いほどよくわかる！他人の心理学／渋谷昌三
- 5位 奥菌壽子のやっぱり、豆腐！／奥菌壽子



健康レシピ

まろやか白和え



ここがポイント！

・チーズをプラスするだけで味のバリエーションが広がります。

- ▷ 材料 / 4人分 ◁ (1人分エネルギー135kcal, たんぱく質10.8g, 脂質7.3g, カルシウム288mg, 塩分0.9g)
- | | | | |
|----------|-----------|----|-------------|
| 小松菜 | ……………200g | 砂糖 | ……………小さじ4 |
| しめじ | ……………80g | 塩 | ……………小さじ1/3 |
| 木綿豆腐 | ……………200g | | |
| すりごま | ……………大さじ2 | | |
| 粉チーズ | ……………大さじ4 | | |
| カッテージチーズ | ……………80g | | |

▷ 作り方 ◁

- ①小松菜は4cm長さのざく切り、しめじは小房に分ける。
- ②フライパンに①を入れ塩をひとつまみ振り、ふたをし、蒸してから、ザルに取り冷ます。
- ③ボウルに豆腐をつぶしながら入れ、すりごま、粉チーズ、カッテージチーズ、砂糖、残りの塩を加え混ぜ、水気を絞った②を入れよく混ぜ合わせる。

「よい食生活をすすめるためのしおり」より

ふじのくに暮らし推進隊

地域おこし奮闘記

森づくり県民大作戦！

間伐材でベンチ作りイベントを行いました。

11月23日に『森づくり県民大作戦』が行われました。『森づくり県民大作戦』とは、静岡県と社団法人静岡県緑化推進協会の共催により開催されるイベントで、春と秋の2回、県内の各地で行われています。今回は推進隊が発案し賀茂農林事務所に働き掛け、南上地域で行われることになりました。



南上の各区に一つずつ置かせていただきました

識する憩いの場としていただくという大作戦です。イベント当日はあいにくの雨でしたが、参加者の皆さんはとても楽しんでくれた様子でした。出来栄も自分の想像していた以上に良く、安心しました。後は皆さんに使っていただくだけです。今回、木材の提供や様々な下準備などをしていただいた、美しい林業の親方を始め、沢山の方々にご協力していただきました。本当にありがとうございます。

内容は、間伐材を利用してベンチを作り、それを南上地域の風光明媚な場所に置きます。参加者の方には自分の作ったベンチのある場所のファンに、また地域の方々には南上の良さを再認

(推進隊 成瀬)

青野川桜マラソン大会
参加者募集

今年で20回目となる記念大会にあたり、参加者皆さまへ参加賞をプレゼントします。また、レース終了後には、お楽しみ抽選会も実施します。

日時 2月3日(日)
受付8:00～ 開会式9:00～

場所 青野川ふるさと公園（スタート・ゴール）青野川堤防道路他

コース

1. 25km（親子ファミリー・小学3年生以下）
- 2 km（小学4年生以上）
- 3 km（中学生）
- 5 km（高校生・一般）

参加料 無料
申込締切 1月15日(火)
申込み・問合せ 教育委員会 社会教育係 ☎62-0604

1月10日は「110番の日」

- ・110番は、緊急通報専用電話です。
- ・事件、事故や不審者の情報は、すぐに110番通報してください。
- ・通話中でも、現場にパトカーなどが向かっています。落ち着いて会話してください。

*警察への要望や相談は、お近くの交番・駐在所または下田警察署（☎27-0110）、相談専用電話「#9110」をお願いします。

NTT西日本発行の電話帳を配達・回収します

NTT西日本では、1月中に新しい電話帳をお届けする際、資源の有効活用のため古い電話帳を回収しますので、配達員にお渡しください。

ご不在の場合は、お伺いしますのでご連絡ください。

問合せ タウンページセンター
☎0120-506-309
(月～金9:00～17:00)

彩・食・健・美
セミナー参加者募集！

～美味しい食事で
こころも体も健康！きれい！！～
みなさんの健康づくりのきっかけとして、お気軽にご参加ください。

日時 2月8日(金)9:30～13:00
(受付9:15～)

対象 南伊豆町在住で70歳以下の方

会場 役場 湯けむりホール

内容 健康・食事に関する講話と調理実習

参加費 400円

持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、タオル

定員 25名

申込期間 1月7日(月)～2月1日(金)

申込み・問合せ 健康福祉課
☎62-6233



振り込め詐欺にご注意

県内での振り込め詐欺の発生件数は、昨年1月から12月4日現在で101件、被害額は2億3,704万円でした。

息子を名乗り「携帯電話の番号が変わった」、社会保険事務所を名乗り「払い過ぎたお金をお返しします」という電話には、詐欺を疑い警察に通報してください。

また、警察官が自宅にキャッシュカードを取りに来たり、暗証番号を聞くことは絶対にありません。

問合せ 下田警察署管内防犯協会
☎27-2766

町内の空き家物件を募集しています。「売りたい・貸したい」という所有者の方は、お気軽にお問合せください。

問 企画調整課 ☎62-6288

下田高校南伊豆分校
農芸祭のご案内

日頃の学習成果の発表や農産物販売・品評会を実施します。皆さまお誘い合わせの上、ご来校ください。

日程・内容

- ・1月18日(金)13:00～15:00 校内発表、農産物品評会審査
- ・1月19日(土)9:00～14:00 一般公開・販売・品評会

*現在、一般の方々からも農産物品評会への参加者を募集しています。丹精込めて栽培した農産物を出品してみませんか。

問合せ 南伊豆分校(石井58)
☎62-0103 FAX62-2799

高次脳機能障害医療
総合相談会

日時 1月31日(木)13:30～16:30

会場 下田総合庁舎4階第8会議室

対象 高次脳機能障害を持つ本人および家族等

内容 医療相談(リハビリテーション専門医による相談)、福祉相談(福祉制度の利用や社会参加について)

申込み・問合せ *要予約
賀茂健康福祉センター福祉事業課
☎24-2056

沼津視覚特別支援学校
入学生募集

学科 保健医療科(3年課程で、あん摩・マッサージ・指圧師の国家試験受験資格が得られます)

入学資格 中学校卒業またはこれと同等の学力がある成人で、両眼の視力が矯正(眼鏡使用)で0.3未満の方、視力以外の視機能障害(視野、光覚等)が強度の方、将来、視力が著しく減退するおそれのある方

*入学を希望される方は事前に本校で教育相談をお受けください。

問合せ 県立沼津視覚特別支援学校
☎055-921-2099

ジェットfoilで行く！伊豆大島椿まつり



超高速船ジェットfoilによる「海のフラワーライン(下田～大島～館山便)」が2月9日から3月3日まで運航されます。今年度は伊豆大島への日帰りツアーを2日間、企画しました。早春の伊豆大島を訪れてみませんか。

実施日 2月9日(土)、17日(日)

行程 下田港(11:45)→大島着(12:40)→大島公園【椿園見学】(13:30)→三原山山頂見学(14:50)→大島発(16:35)→熱海港着(17:20)→下田港(19:40)

※島内での移動および熱海港からの移動は貸切バスとなります。

料金 大人8,000円、小人(中学生未満)5,500円

募集人数 各日40人 *申込多数の場合は抽選

申込方法 企画調整課で申込用紙にご記入ください。

申込期間 1月8日(火)～18日(金)

申込み・問合せ 企画調整課 ☎62-6288



こころの健康相談

夜眠れない、やる気が起きない、人間関係・家族のこと・ひきこもりなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

*相談無料、要予約

日時 毎月第4木曜日14:00～16:00

場所 県下田総合庁舎4階相談室

申込み 賀茂健康福祉センター福祉事業課 ☎24-2056

法務局下田支局における
国籍事務の取扱い変更

平成25年1月1日から、静岡地方法務局下田支局管内に住所を有する方の以下の届出や申請は、沼津支局で手続きをすることになります。

帰化許可申請/届出による国籍取得/国籍離脱/その他の国籍に関する相談

問合せ 静岡地方法務局 沼津支局
☎055-923-1201

姉妹都市だより 長野県塩尻市



「幻想の空間」
奈良井宿アイスキャンドル祭り

塩尻市では、寒さが厳しくなるこれからの季節に、大変心温まる奈良井宿アイスキャンドル祭りが開催されます。奈良井宿は、国の重要伝統的建造物群保存地域に指定され、約1㌔にわたり江戸時代の面影を残す宿場町の家並みが続き、NHK連続テレビ小説「おひさま」のロケ地としても有名です。朝晩にはマイナス10度になることもありますが、この寒さを利用して地域を盛り上げようと手作りの

アイスキャンドル2000個に火が灯され幻想的な空間を醸し出します。

日時 2月3日(日)17時頃～

開催場所 圃橋川地区観光案内所
☎0264-34-3160



戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
毛倉野	長嶋 岳人	10.30	和矢・香奈
入間	山本 新	11.5	壮太郎・典子
大瀬	山本 美和	11.7	和宏・恵美
加納	山崎 幸三	11.12	元一・尚美
中木	高野 実乃里	11.18	拓也・美沙

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
手石	佐野 福恵	88	11.6
吉祥	渡邊 昌克	65	11.6
上小野	荒井 千ヨ	97	11.10
二條	土屋 弥四郎	99	11.11
湊	木下 克巳	64	11.14
下流	平山 博巳	72	11.17
石廊崎	渡邊 比良夫	88	11.23
青市	藤原 豊彦	80	11.24
下小野	鈴木 辰義	93	11.27
湊	力元 ぶさ子	86	11.27
下賀茂	小嶋 きみ子	89	11.29

平成24年11月1日から11月30日までに届出のあったもの(敬称略)
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(12月1日現在)

世帯数 3,993世帯
人口 9,247人(一6)
男 4,401人 女 4,846人
----- (11月中) -----
転入 16 転出 11
出生 5 死亡 16

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。

南伊豆の先人

みなと児童遊園地の創設に尽力

昭和40年代は民宿ブームが起り、子どもの数も多かった。湊地区もその中にあり、故・山田ふみえ氏は、次代を継ぐ子どもをたくましく、よい子に育てることは大人の責任であると考え、子どもたちが安心して遊べる場所を探していた。

そんな中、山田氏が目を付けたのは荒れた共同墓地であった。それを遊園地に改造するのは、当時の女性の地位では大変だったという。墓地所有者全員の承諾を得、供養塔を建てて供養し、改葬手続、測量、工事、園内整備など、山田氏の強いリーダーシップが区民や行政を動かし、昭和50年7月、ついに夢の遊園地、実現の日を迎える。開園式にはかわいい子どもたちも訪れ遊具で遊びだした。昭和52年



7月の開園記念日式典では、旧竹麻小学校の鼓笛隊もお祝いに花を添えた。

区民をはじめ公園を支えている人は多いが、当時のことを知っている関係者は故人となった人もおり数少ない。

地域に多大な力を発揮した人として山田ふみえ氏を永遠に記憶するべきであろう。



山田ふみえ氏

*同遊園地に関する詳しい資料は図書館にあります。

健康一口メモ

不要な入れ歯ありませんか？

入れ歯の部品には、貴金属が1個当たり約5割含まれ、約2,600円の価値があることを知っていますか？

NPO法人静岡県難病団体連絡協議会では、不要入れ歯を回収しており、「難病・疾病団体協議会」と「日本ユニセフ協会」に寄付しています。

入れ歯の他に、メガネ・万年筆・アクセサリ類、携帯電話など金属を含む物も同時に回収しています。

回収箱は、役場健康福祉課にも設置してありますので、ご協力をお願いします。



問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

スマイルキッズ



上小野 高橋七美^{ななみ}ちゃん (1歳6か月)

寒さに負けず元気いっぱい遊ぼうね！

広報みなみいず 1月号

発行日/平成25年1月1日
発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/㈱サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamizu.shizuoka.jp/>

編集後記

今年巳年。干支にちなんで、蛇石^{へびいし}をご覧になったことのない方も訪れてみてはいかがでしょうか。案内看板も、地域おこし協力隊が作り新しくなりましたので、あわせてご覧になってみてください。㊦

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。

平成 24 年南伊豆町議会 12 月定例会の開会にあたり、次の 6 項目について行政報告を申し上げます。

1 防災対策等について

(1) 南伊豆町・杉並区災害時相互援助に関する協定書の締結等

9 月 14 日、役場湯けむりホールにおいて、東京都杉並区と災害時相互援助に関する協定書を締結いたしました。

単独の自治体間における災害協定は、姉妹都市である塩尻市に続き二例目となります。

この協定書の締結を契機として、杉並区との更なる交流の輪が広まり、民間レベルでの多面的な連携・交流等による経済波及効果などにも大きな期待が寄せられております。

また、9 月末には、杉並区区政施行 80 周年記念事業のオープニングイベントとして、杉並区と災害時相互援助協定を締結している 9 市町村長が一堂に会し、杉並区交流自治体スクラム会議が開催されました。

この会議では、高い確率で迫りつつある大規模震災等を想定し、災害に強いまちづくりや減災の視点に立った防災対策の推進と、自治体間連携による「水平的支援」の重要性を再確認し、日常の友好交流が創り出す絆を大きな力として、相互に助け合い、支え合う

ことを宣言いたしました。

(2) 南伊豆町自主防災会災害時相互応援協定の締結

12月1日付けで、町内34地区の自主防災会との間で災害時相互応援協定を締結いたしました。

この協定は、予想される東海地震及び南海トラフを震源域とする巨大地震などの大規模災害の発生に備えたもので、町災害対策本部からの要請により、被害を受けていない自主防災会が友愛的精神に基づき、被災地区への応援対策を円滑に実施することを目的としております。

内容につきましては、避難所施設の提供、供給可能な食糧、飲料水及び生活必需品のほか、資機材等の提供、避難者への生活支援ボランティアの斡旋を応援対象とし、応援の手続き、経費負担などを定めたものであります。

また、この協定締結の機会を捉え、各自主防災会の防災力評価などの検証と、自主防災事業補助金や住宅の耐震化、ブロック塀の倒壊防止など、防災関連助成制度の利活用を推奨いたしました。

(3) 津波避難タワー設計事業

12月3日付けで、大規模地震対策事業にかかる湊地区津波避難

タワー建設工事設計業務委託契約を静岡コンサルタント株式会社と締結するなど、津波避難タワーの設置に向けた事業を進めております。

この津波避難タワーは、8月29日に内閣府から発表された「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び人的・物的被害想定」に基づき、安全なステージ高及び予定避難人員を収容できるステージ面積を有するもので、平成25年度の早期完成を目指しております。

2 経済対策について

(1) 「伊勢海老号」の運行支援

長引く景気の低迷に加え、東日本大震災の影響による景気の低迷を打開し、その浮揚を図るため、昨年度に引き続き、観光協会が行う貸切団体列車「伊勢海老号」の運行事業に対する支援を行いました。

当事業は、10月20日、21日の両日、JR東日本、伊豆急行株式会社、株式会社南伊豆東海バスと連携し、町内のホテル・旅館に宿泊し、「波勝崎苑」、「天神原植物園」、「奥石廊崎ジオパークビジターセンター」、「下賀茂熱帯植物園」、「南伊豆アロエセンター」及び「フェスタ南伊豆会場」等を巡るもので、

募集人員 280 人に対し、ほぼ満席となる 276 人もの方に南伊豆町に訪れていただきました。

運行の初日には、町や町内ホテル・旅館関係者等が伊東駅から「伊勢海老号」に乗り込み、乗客一人ひとりにサザエキャンドルやパンフレット等を配布するとともに、下田駅では伊勢海老音頭を披露するなど、歓迎セレモニーを実施いたしました。

当事業の実施による効果は、町内ホテル・旅館、観光施設及び飲食店等への直接的な経済波及効果をはじめ、新聞・テレビなどのマスメディアで取り上げられたことや、JR 東日本全支社での募集による告知・宣伝などにより、南伊豆町の情報発信ができ、また、今後の誘客にも大いに効果があったものと考えております。

(2) プレミアム商品券の発行助成

厳しい景気低迷の中、商工会が購買意欲の刺激による商業の活性化を図るために、11 月 5 日から町内参画事業所約 150 店舗で利用できる 15%の割増し付きのプレミアム商品券 5,000 万円分を販売したところですが、町では当事業における商品券の発行経費の一部を助成し、支援を行っております。

商品券は、既に完売しておりますが、3 月 10 日（日）までの約 4 か月に亘る事業ですので、年末商戦の刺激、また、新年度の

準備が始まる2月、3月の消費刺激など、地域経済の浮揚につながるものと期待しております。

(3) 有害鳥獣対策

当町では、猪、鹿、野生猿等による鳥獣被害防止対策事業として、電気柵やワイヤーメッシュ等による有害鳥獣等被害防止対策事業補助金や、猪、鹿、野生猿などの有害獣捕獲駆除に対する報償金の支給を行っております。

本年度の状況につきましては、町内での有害鳥獣による農作物等への被害が近年になく増加しており、補助金や報償金ともに10月末現在で、既に昨年度の年間実績を超えております。

また、10月29日に農家有志で組織する「野生猿による被害防止の会」から、農作物被害を防止するための要望書が、町内24地区の1,428人の署名とともに提出されました。

このような状況の中、町といたしましては、11月8日から野生猿の捕獲駆除の一層の推進を図るため、報償金を2万円から3万円に引き上げるとともに、11月19日には静岡県に対し、広域的な捕獲駆除の推進や生態調査などの有害鳥獣等の対策についての要望書を提出いたしました。

今後とも、静岡県、周辺市町及び地元猟友会等と連携を図り

ながら、有害鳥獣等による被害防止対策に取り組んでまいります。

3 イベントの開催状況等について

(1) 日本ジオパークネットワーク加盟承認

9月24日、伊豆半島の日本ジオパークネットワークへの加盟が正式に承認されました。

13市町からなる伊豆半島ジオパーク構想推進協議会の活動は、初期の目的を達成し、世界ジオパーク加盟を目指す段階に入っております。

世界ジオパークの加盟承認にあたっては、圏域内における旅行商品の造成などソフト事業の展開が重要視されます。

推進協議会では、これまで続けてきたジオガイドの養成にますます力を入れるとともに、各地域の活動拠点となるビジターセンターについて、各市町が今後3年の間にそれぞれ整備する方向性を打ち出しております。

当町におきましては、既に7月から、観光協会が中心となって、奥石廊崎愛逢岬において、「南伊豆町ジオパークビジターセンター」を開設し、その運営を行っております。

現在、町内に3人おりますジオガイドの活動拠点となる施設でもあり、10月17日には知事の視察訪問も受けました。

今後とも、ビジターセンターを拠点として、平成 27 年度の世界ジオパーク加盟に向けて、引き続き、静岡県や推進協議会等と連携を図りながら、一層その取組を進め、町の活性化につなげてまいりたいと考えております。

(2) ウォータースイムレース等の実施状況

9月9日、弓ヶ浜海岸において、「第2回国際マスターズオープンウォータースイムレース」が開催されました。

国の内外から181人の参加があり、内81人の方に町内へ宿泊していただきました。この81人の中には、招待選手として、台湾、中国、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、オーストラリアの8カ国から参加の17人の選手も含まれております。

また、前日の8日には、観光協会を事務局とする地域実行委員会が前夜祭「黒潮ウエルカムファンクション」を開催し、参加者の歓迎にあたりました。

さらに、10月7日には、同海岸において、「第3回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会」が開催されました。

当日は、関東圏をはじめ、京都府、岩手県、愛知県など日本各地から集まった186人の選手が、海上1.5kmのコースを泳ぎ、

続いて砂浜の白と松林の緑のコントラスト豊かな海岸通りを3周する陸上4.5kmのコースを駆け抜けました。

本年度で、当町でのオープンウォータースイムレース等の開催は3年目となりましたが、参加者の状況などから、着実にこれらの大会が定着しつつありますので、今後とも、継続開催に向けた取組を進めてまいります。

(3) 杉並区での物産展及びキャンペーン開催

9月14日の「南伊豆町・杉並区災害時相互援助に関する協定書」の締結に先き立つ9月12日に、杉並区役所内において、「南伊豆町物産展」を開催いたしました。

当日は、町、観光協会、伊豆漁業協同組合による海産物、農産物、菓子類等の販売、伊勢海老の味噌汁やところてんのサービスを行い、「南伊豆町」、「南伊豆町の特産品」の宣伝をしてまいりました。

区役所を訪れた杉並区民の方々に加え、弓ヶ浜の杉並区営施設ゆかりの方々が入れ代わり立ち代わりブースを訪れ、2トン車に満載していった特産品が半日で完売するなど、大盛況のうちに終了いたしました。

また、10月13日、14日には、「杉並区80周年まつり」が開催され、杉並区との災害時相互援助協定等の締結自治体とともに

出展し、当町は、伊勢海老の味噌汁を振る舞い、「伊勢海老まつり」、
「みなみの桜と菜の花まつり」のキャンペーンを実施いたしました。

さらに、現在、杉並区交流協会から、みなみの桜まつり期間中の
2月23日、24日に、「杉並区民号」として、都内からの伊豆急
下田直通列車を使用した当町訪問の計画をいただいております。
参加人員は80人ほどで、宿泊については、町内の民宿への分宿が
予定されております。

今後とも、杉並区内への各種イベントに積極的に参加すると
ともに、「杉並区民号」をはじめとする交流の拡大に努めてまいり
ます。

(4) フェスタ南伊豆

10月21日、青野川ふるさと公園を会場に、産業団体連絡協議会、
社会福祉協議会、南伊豆町等で構成するフェスタ南伊豆実行委員会
主催の「第9回フェスタ南伊豆」が開催され、約4,000人もの
来場者で賑わいました。

開会式では、町の姉妹都市であります長野県塩尻市長及び市議会
議員の皆様にも御臨席をいただき、町表彰条例に基づく功労表彰
2名、善行表彰3名の表彰、町スポーツ・文化表彰に関する規則に
基づくスポーツ栄誉表彰1名、文化栄誉表彰1団体の表彰、社会

福祉協議会善行者 4 名に対する感謝状の贈呈も併せて行われました。

当日は、好天に恵まれ、町内外 25 団体が 36 のブースを出展し、塩尻市の高原野菜や果物等の販売、産業団体の地場産品等の販売、健康相談、福祉施設の紹介、地震体験車による地震体験、お楽しみ抽選会など、幅広い交流活動が盛大に行われました。

また、今年度は、町観光協会と姉妹観光協会の秋田県男鹿市観光協会の参加により、きりたんぼ、しょつつるをはじめとした地場産品の販売のほか、「ナマハゲ太鼓」の披露が行われ、会場から盛大な拍手が送られました。

さらに、観光協会の貸切団体列車「伊勢海老号」による観光客のうち 130 人がバス 4 台で来場され、伊勢海老の味噌汁サービスに舌鼓を打ち、珍しい地場産品等に興味を示すなど、各ブースを巡りながら本町ならではのイベントを満喫していただきました。

フェスタ南伊豆は、関係する産業団体、各種団体の協力や町民の皆様のご理解の下、年々出店数も増加し、交流の場として地域活性化の大きな原動力になっており、今後も、秋の一大イベントとして定着し、町の活性化につながっていくことを大いに期待しております。

(5) 首都圏への情報発信

11月8日、東京都内において、JR東日本、伊豆急行等公共交通機関、JRびゅうトラベル、JTB等の旅行代理店、伊豆・湯河原各地域観光協会などの旅行業関係者約200人が、一堂に会して開催された「JR東日本温泉いっぱい花いっぱいセミナー」に、南伊豆町も、町内ホテル・旅館の関係者とともに参加してまいりました。

当日は、これからシーズンが始まる「みなみの桜と菜の花まつり」を中心に、旅行業エージェントに向けて、南伊豆町の観光全般をはじめ、昨年度から開催の「夜桜ナイトラン」、桜並木を歩く「ノルディックウォーキング」など、参加された方々から好評をいただいたイベントについて、ピーアールを行ってまいりました。

今後とも、積極的に町の情報発信を行うとともに、町内における集客イベントの開催についても、数を増やすなどして、誘客に努めてまいります。

(6) 南伊豆婚カツ

町では、静岡県「子育て理想郷“ふじのくに”地域モデル事業」を活用して、未婚率の低減や地域の活性化を図ることを目的とした「南伊豆婚カツ」事業を、町商工会に委託して実施

いたします。

婚カツ事業の参加対象者は、独身で町内に在住する 25 歳から 50 歳までの男性と、独身で 20 歳から 45 歳までの女性各 30 人で、日程は、12 月 8 日、9 日の 1 泊 2 日となっております。

初日は、南伊豆町役場に集合し、オリエンテーションのあと、町内 4 飲食店でグループに分かれての対面パーティーを行い、その後は、会場を町営温泉銀の湯会館に移して参加者全員でのパーティーを実施いたします。

翌日は、貸切バスで町内を観光することとなり、弓ヶ浜海岸、石廊崎での遊覧船クルーズ、ジオパークビジターセンターを周り、伊豆漁業協同組合南伊豆支所直売所で海の幸の買い物を楽しんでいただき、交流を深める計画です。

町が婚活事業に取り組むのは初めてですが、町商工会の尽力により、未婚率の低減、少子化対策、地域の活性化につながることを期待しているところであります。

(7) 観光客等入込み状況について

4 月から 10 月までの観光客等の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

分野別に見てみますと、宿泊施設は 133,355 人で、対前年同期比

111.62%、観光施設は 82,179 人で、対前年同期比 128.82%、銀の湯会館・みなと湯の町営温泉施設は 67,261 人で、対前年同期比 115.79%と、昨年度を上回る入込数となりました。

また、7月14日に開設しましたジオパークビジターセンターは、1日平均146人の来場者を数えるなど、約4か月ほどで16,013人にも上る多くの方々に来場していただきました。

観光客等の入込状況

(単位：人)				
区分		平成24年4月～10月	平成23年4月～10月	前年比(%)
宿泊施設	民宿宿泊客	37,754	36,870	102.40
	旅館・ホテル等宿泊客	95,601	82,603	115.74
	小計	133,355	119,473	111.62
観光施設	下賀茂熱帯植物園	11,991	9,537	125.73
	波勝崎苑	18,414	18,962	97.11
	石廊崎遊覧船	18,137	16,522	109.77
	一条竹の子村	1,659	1,057	156.95
	天神原植物園	2,269	3,316	68.43
	伊豆下田CC	13,696	14,400	95.11
	ジオパークビジターセンター	16,013	-	-
	小計	82,179	63,794	128.82
温泉施設	銀の湯会館	47,572	39,830	119.44
	みなと湯	19,689	18,259	107.83
	小計	67,261	58,089	115.79
合計		282,795	241,356	117.17
(資料：観光交流客数調査)				

4 自然エネルギーについて

町では、自然エネルギーへの取組の一つといたしまして、静岡県が実施した民間企業によるメガソーラー建設促進のための適地情報収集についての調査依頼に対して、吉祥町有地の利活用の可能性を広げる一つの手法として、回答を行ったところ、11月末までに10数社から問い合わせがありました。

現在、これらの事業者の中で、実施の意向を有している数社に対して、計画概要等を照会しているところであります。

また、環境省が独立行政法人産業技術総合研究所に委託し、平成23年度から実施している「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」につきましては、加納地区における地下深部からの熱水噴出試験が9月末日をもって終了し、本年度末に報告書として取りまとめられることとなっております。

この調査は、下賀茂温泉における地下の地質分布や温度分布等を調査し、温泉湧出メカニズムや地熱資源の広がり等を解明することを目的として進められたものであり、この結果が将来に亘っての温泉の利活用において、貴重な資料になるものと期待しております。

こうした自然エネルギーに対する町の姿勢といたしましては、地域の生活環境や自然景観との調和を図りながら、町有施設への導入について、防災上の観点も含め研究するとともに、昨年度創設の

「住宅用太陽光発電システム設置補助金」を活用しながら、町民の皆様への普及啓発に努めてまいります。

また、住宅以外への太陽光発電システムの普及につきましても、その導入を促進するための支援制度なども研究してまいりたいと考えております。

5 静岡県市町対抗駅伝競走大会について

12月1日、「第13回静岡県市町対抗駅伝競走大会」が開催されました。

今回の大会には、県内の35市町から市の部27チーム、町の部12チームの計39チームが出場し、静岡県庁前を午前10時にスタートし、草薙陸上競技場までの11区間、42.195kmのコースで競技が行われました。

8月から練習が始められ、記録会等も重ね、多くの候補の方々の中から選出された11人が、本業の学業や仕事などいろいろな制約がある中、厳しい練習を乗り越えての力走となりました。

大会結果につきましては、2時間32分9秒で、町の部11位と全選手が健闘したところであります。

特に、1区ジュニアA女子の部の佐藤 愛選手は、競技中の転倒、負傷にもかかわらず、町の部6位となりました。

また、2区小学生男子の部の鈴木芳樹選手は、町の部3位、6区40歳以上の部の笠井 慎選手は、13年連続出場し、町の部5位と見事な走りでした。

町の代表として走り、「たすき」をつないだ選手をはじめ、監督や指導者、選手を支えてくださったご家族・関係者、そして最後まで温かい応援をしてくださった町民の皆様に重ねてお礼申し上げます。

6 主要建設事業等の発注状況について

平成24年度第3四半期における主要建設事業等の発注状況は、次のとおりであります。

平成24年度旧社会福祉センター解体工事

2,583,000円 有限会社宇田建設 南伊豆営業所

平成24年度旧南崎保育所解体工事

3,034,500円 伸和建设

平成24年度大規模地震対策事業湊地区津波避難タワー建設工事
設計業務委託

4,042,500円 静岡コンサルタント株式会社

平成 24 年度丸山トンネル照明電線管支持材改修工事

2,704,800円 株式会社下田電化設備工業

平成 24 年度町道湊区内 3 号・7 号線道路改良工事

13,029,450円 株式会社南伊豆造園土木

平成 24 年度来宮橋高欄兼防護柵改修工事

9,936,150円 株式会社南伊豆造園土木

平成 24 年度落居 1 号橋・2 号橋補修工事

21,513,450円 株式会社南伊豆造園土木

平成 24 年度町道伊浜蛇石線道路舗装改修工事

4,714,500円 丸三工業株式会社

平成 24 年度下流漁港打越護岸整備工事

7,976,850円 恵比寿建設株式会社

平成 24 年度三坂（中木）漁港農山漁村地域整備交付金事業陸閘下部
工事

3,722,250円 有限会社伊豆総合

平成 24 年度三坂（中木）漁港農山漁村地域整備交付金事業陸閘門扉
製作設置工事

16,275,000円 株式会社住軽日軽エンジニアリング

平成 24 年度中央公民館解体工事

7,696,500円 有限会社宇田建設 南伊豆営業所

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業市之瀬地区配水管布設替工事

9,376,500円 株式会社イナセツ 南伊豆支店

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業下小野地区配水管布設替工事
（第 1 工区）

16,607,850円 有限会社菊池設備工業

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業下小野地区配水管布設替工事
（第 2 工区）

10,842,300円 有限会社渡辺住宅設備 南伊豆支店

平成 24 年度石井取水場非常用発電機取替工事

8,400,000円 ヤンマーエネルギーシステム
株式会社 名古屋支店

平成 24 年度石井浄水場監視装置部品交換工事

2,310,000円 水 i n g 株式会社 横浜支店

平成 24 年度南伊豆町公共下水道事業下賀茂処理分区管渠築造工事
(第 1 工区)

29,603,700円 株式会社西田

平成 24 年度南伊豆町公共下水道事業下賀茂処理分区管渠築造工事
(第 4 工区)

31,710,000円 長田建設工業株式会社

平成 24 年度南伊豆町公共下水道事業下賀茂処理分区管渠築造工事
(第 5 工区)

6,053,250円 株式会社西田

以上で、平成 24 年 12 月定例会の行政報告を終わります。